

# 第 24 回 横浜市長杯(小・中学生)大会要綱

1. 大会名 第 24 回 横浜市長杯
2. 主催 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主管 神奈川県アイスホッケー連盟 小中女子普及委員会
4. 審判団 神奈川県アイスホッケー連盟レフェリー委員会
5. 期間 平成 25 年 11 月 30 日から平成 26 年 1 月 18 日まで
6. 会場 新横浜スケートセンター
7. 参加資格 神奈川県アイスホッケー連盟登録ジュニアチームの登録選手および登録役員とする。
8. 競技方法 トーナメント方式とする。但し、低学年カテゴリーは総当たりリーグ戦とする
9. ホーム・ベンチ 対戦表(大会日程表)の左側のチームを仮ホームとし、試合毎にパックスによってホームチームを決定する。
10. 競技規則 下記の特例を除き、IIHF公式規則を適用する。
11. 競技時間 【全試合】練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分とする。(タイムアウトはなし)

## 12. 特例規則

### 【競技時間の変更】

各試合において、スーパーバイザーが予定リンク貸切り時間内に試合終了しないと判断した場合、当該試合の残り時間をロス・タイム込みと宣言して進めることができる。

### 【ロス込み時間帯でのペナルティ時間の計測】

ロス込み時間帯でのペナルティタイムの計測はペナルティ後のフェイスオフを持って開始とする。ペナルティ終了時にプレーが停止している場合には次のフェイスオフまで氷上に戻れない。

### 【同点時の勝敗決定方法】

3ピリオド終了時同点の場合、各チーム 1 人ずつのサドンビクトリー方式のGWSにより勝敗を決定する。先攻はパックスで決定し、両チーム 3 回ずつのPSで勝敗が決定しなかった場合はその時点で先攻・後攻を入れ替え、以降も 3 回ずつの入れ替えとして進める。

### 【最低人数】

原則として、試合開始整列時にプレイヤー7名、ゴールキーパー1名、計8名が揃っていない場合には試合放棄とみなして不戦敗(記録時のスコアは0-15)とする。

### 【マウスピース】

選手は全員マウスピースの着用を必須とする。

### 【フェイスマスクの食い込み防止装備(U字金具)】

ヘルメットのフェイスマスクが顎やのどに食い込むのを防止する金具(U字金具またはプラ

スチック具も含む)が適切に装備されていない状態では試合への出場を認めない。

**【損傷したあご紐】**

あご紐に損傷が認められる場合には、たとえテープ等で修復・補強していたとしても試合への出場を認めない。

13. 予選会

**【第2回 Ice Hockey Japan Cup U9】**

- 1) 本大会は第2回 Ice Hockey Japan Cup U9(日本アイスホッケー連盟主催:愛知県アイスホッケー連盟主管)の予選大会を兼ねることとし、本大会の順位をもって上位チームに出場枠を与え出場チームを決定することとする。
- 2) A/B 2チームが出場する場合、予選会としての順位決定は上位のチームの順位をもって決定し、下位のチームの順位は無効としたうえで、その他のチームの順位を繰り上げる。
- 3) 予選会上位となり出場枠を獲得したチームが当該大会に不出場を決定した場合には、順位を繰り上げて次順位のチームに出場枠を与えるものとする。
- 4) 合同チームが当該大会出場枠を獲得したものの主催者が合同チームの出場を拒否した場合、下位チームの順位を繰り上げて出場権を与えるものとする。
- 5) その他協議が必要とみなされる問題が出た場合、都度普及委員会及び理事会にて協議する。

14. チーム役員

ユニフォームを着用しないベンチ役員を一名以上ベンチにおくこと。当該試合のメンバー表に記載し、試合開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。

15. ベストの着用

合同チームの場合、もしくは対戦チーム同士のユニフォームの色調が判別しにくいとレフェリーが判断した場合は本部から見て左側のベンチのチーム(仮ホームチーム)がベストを着用することとする。

16. ゲームSV

オフィシャルチームの登録チーム役員(ルーツに精通した者)がゲームスーパーバイザー(SV)を務める。SVは担当する試合の全ての最終判断において全権を有することとする。

以上